

診療予定 カレンダー

| | | | | | | | |
|------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 受付時間 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 午前9:00～午前12:00 (初診～11:30) | ● | ● | ● | ■ | ● | ● | ■ |
| 午後2:30～午後6:30 (初診～6:00) | ● | ● | ● | ■ | ● | ● | ■ |

あずさわ通信

第24号
2010年11月1日発行
あずさわ おもてなしの医療
小豆沢整形外科



お知らせ 新規の禁煙外来、一時休止のお知らせ

当院では予防医学を推奨する立場から、禁煙治療外来を行っております。昨年からは、ニコチンパッチに替わり、禁煙治療薬「チャンピックス」をいち早く採用し、既に多くの方がこの治療を受けられ、およそ70%の方が禁煙に成功されています。

への納入も中断され、しばらくの間、禁煙治療をご提供できなくなりました。

現在、製薬企業は生産体制を整備中で、供給再開は2011年1月からの見通しという連絡が入っております。

新規で禁煙治療開始をご希望の方には大変ご迷惑をおかけしますが、年明けまでお待ちいただきますよう、宜しくお願いいたします。

なお、現在既に当院で禁煙治療を開始されている方の薬剤は確保していますので、規定の3ヶ月間が終了するまで継続して治療を受けられて下さい。

薬剤の安定供給が再開されましたら、直ぐに禁煙治療を再開いたします。その際は即時、院内掲示、小豆沢整形外科ウェブサイトおよびメールマガジンにてお知らせいたします。

今年10月のタバコ税値上げに伴い、全国的に禁煙治療に取り組む方が急増しました。当院でも8月、9月は新規に禁煙治療を始めた方が多く、タバコ増税は国民の健康増進に良い影響を与えているようです。我々も更に禁煙治療を薦めていきたいと考えていた矢先、突然下記に述べる問題が発生し、新たに禁煙治療希望の方にお詫び申し上げます。上げなければなりません。

実は最近の禁煙治療希望者の増加に治療薬の製造・供給が間に合わず、全国的に薬品が欠品になってしまったのです。今月から当院

院長

2010年11月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 1 全日 | 2 全日 | 3 休診 | 4 全日 | 5 全日 | 6 休診 |
| 7 全日 | 8 全日 | 9 全日 | 10 休診 | 11 全日 | 12 全日 | 13 休診 |
| 14 全日 | 15 全日 | 16 全日 | 17 休診 | 18 全日 | 19 全日 | 20 休診 |
| 21 全日 | 22 休診 | 23 休診 | 24 休診 | 25 全日 | 26 全日 | 27 休診 |
| 28 全日 | 29 全日 | 30 全日 | | | | |

22日(月)は臨時に、23日(火)は祝日のため休診となります。22～24日は3日連続休診となりますので、ご注意ください。

2010年12月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | 1 休診 | 2 全日 | 3 全日 | 4 休診 |
| 5 全日 | 6 全日 | 7 全日 | 8 休診 | 9 全日 | 10 全日 | 11 休診 |
| 12 全日 | 13 全日 | 14 全日 | 15 休診 | 16 全日 | 17 全日 | 18 休診 |
| 19 全日 | 20 全日 | 21 全日 | 22 休診 | 23 休診 | 24 全日 | 25 休診 |
| 26 全日 | 27 全日 | 28 全日 | 29 休診 | 30 休診 | 31 休診 | |

23日(木)は祝日のため休診となります。29日(水)～31日(金)は年末休業のため休診いたします。

当院サイトもぜひご利用ください。 <http://www.azusawaseikei.com>

あずさわ おもてなしの医療
小豆沢整形外科

東京都板橋区小豆沢2丁目36-13
マツエクリニックビル5F・6F
03-5916-4970

院長記事

緊急警告! 女の子をお持ちのお父さん・お母さん、ダメっ、絶対!

「子宮頸がん予防ワクチン」打たせないで!!

最近テレビCMでも子宮頸がん予防ワクチンが宣伝されていたのをご存知ですか?

これはイギリスの製薬会社グラクソ・スミス・クライン社が製造販売している商品名「サーバリックス」という注射のワクチン。

効能として「子宮頸がんの原因とされるヒトパピローマウィルス(HPV)の感染を予防し、引いては子宮頸がんを防ぐ、」と言っています。そしてこのワクチンを国や自治体を挙げて、10歳から14歳くらいの女の子に全員に打とうとしています。

しかしこれは非常に危険なワクチンであることが伏せられています。結論から言えば、絶対に打たせてはいけません。その理由を下記に述べます。

① 効果がほとんどない

このサーバリックスを打てば子宮頸がんが100%予防できるのかのごとく宣伝しているがそれはウソ。効果があるのは、HPVの16型と18

型の感染予防のみで予防効果は6年程度だがそれまだまだハッキリしない。

日本ではむしろ52型と58型の感染が危険であり、これらに対してはまったく無効なのです。また、接種前に既に感染している場合には全く効果なし。

② 副作用の頻度高く、死亡例も多数。

ワクチンを打った部分の痛みや腫れはほぼ必発。そのほか頭痛・吐き気・倦怠感・失神などは高い確率で発生。

2009年、一流医学雑誌JAMAに載った報告では、サーバリックスを打った12,424人のうち772人(6.2%)に重篤な副作用が現れ、うち32人が死亡。インドで行った調査ではなんと120人中4人(3.3%)の死者が出ました。

つまり30人に1人がワクチンの副作用で死亡したのです。これほど危険なワクチンがかつてあったでしょうか!? 厚生労働省はこの

ことをまだ隠しています。

③ さらに恐ろしいことがあります。

実はサーバリックスを打つと不妊症が発生し、子供を作れなくなる可能性があります。

このワクチンには「アジュバント」と呼ばれる免疫刺激物質が混入していますが、これが免疫システムのバランスを崩し、自己免疫疾患を誘発することがあります。

「自己免疫」とは、本来自分の体の一部で無害なものに対して免疫細胞が誤って攻撃をかけて炎症を起こす病気です。様々な自己免疫疾患がありますが、自分の受精卵に対して免疫が異物と認識してしまうと受精卵が死んでしまい、妊娠できないことになります。

サーバリックスにはその可能性が専門家から指摘されています。弁護士の南出喜久治氏は今年6月23日福岡市のホテルで、大勢の政治家を前に「サーバリックスは、国を滅ぼす断種ワクチン」と題する

緊急提言を行っています。

これをお読みの皆様、テレビや新聞で宣伝されたものは、「正しいもの」だと思い込まないで下さい。メディアで報道される情報は、必ず誰かが利益を上げるために流されるものです。

あなたとお子様・お孫様の健康に直接関わる情報は、直ぐに鵜呑みにして行動せず、少し様子を見てから慎重に判断されることをお勧めします。

ちなみに私たち小豆沢整形外科はどこの団体からも利益を得ていませんし、複数の情報を精査した上で、純粹に患者様の健康に役立つ情報をお伝えしていますので、どうぞご安心下さい。

